

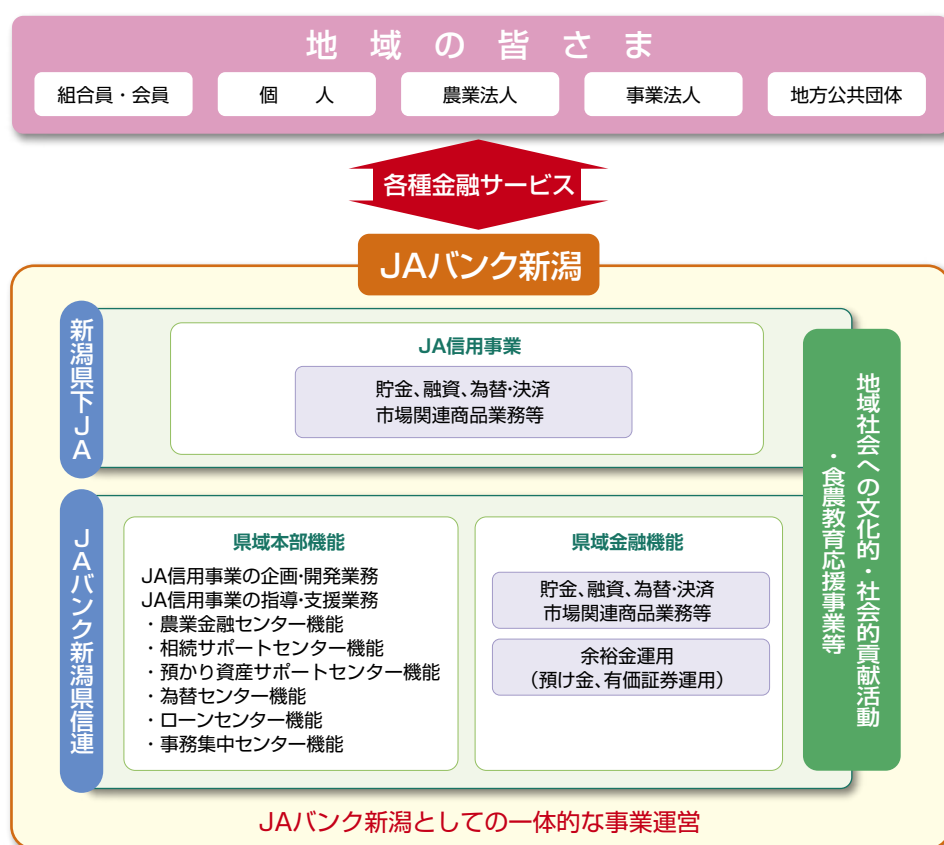
当会は、県内のJA等が会員となり、互いに助け合い、発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、新潟県を事業区域として、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

当会の資金は、その大半が県内のJAにお預けいただいた農家組合員および地域の皆さまの大切な財産である貯金が原資であり、主として、JA・農業に関連する企業・団体および県内の一般企業や地方公共団体などにご利用いただいています。

当会は、農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、JAとの強い絆とネットワークを形成することによりJAの信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めています。

また、資金供給や経営支援などの金融機能の提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。

地域経済への貢献



地域からの資金調達（令和2年3月末）

■ 貯金残高（単位：億円）

県下JA計		JAバンク新潟県信連	
区分	残高	区分	残高
組合員	17,937	会員	17,322
地方公共団体等	1,053	地方公共団体等	36
その他	3,810	その他	270
合計	22,801	合計	17,630

地域への資金供給（令和2年3月末）

■ 貸出金残高（単位：億円）

県下JA計		JAバンク新潟県信連	
区分	残高	区分	残高
組合員	4,090	会員	357
地方公共団体等	416	地方公共団体等	536
その他	356	その他	1,608
合計	4,863	合計	2,502

※貸出による地域への資金供給のほか、新潟県債、新潟市債の引受により地域経済の発展に貢献しています。

地域密着型金融への取組み(中小企業等の経営改善および地域活性化のための取組みを含む)

JAバンク新潟（県下23JAと当会）では、農業と地域社会に貢献するため、JAバンク新潟中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでいます。

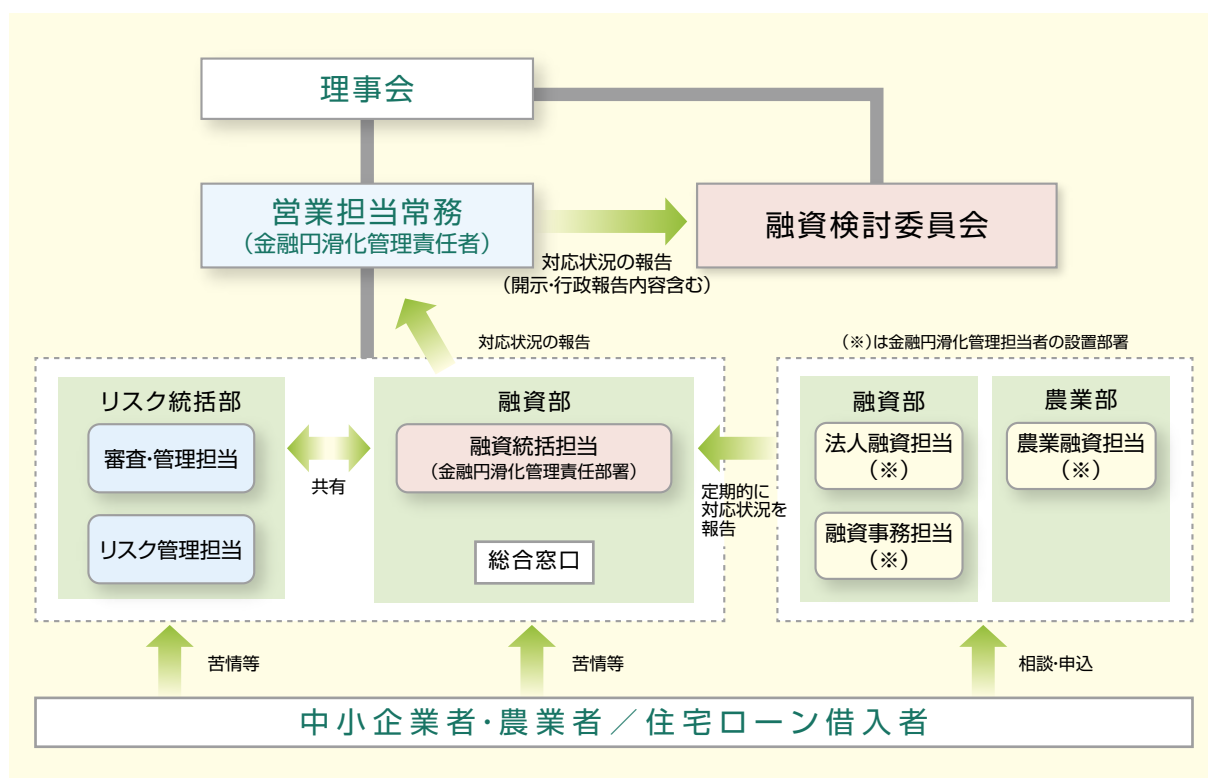
中小企業者等の経営支援に関する取組方針

当会では、「金融円滑化にかかる基本的方針」を定め、経営不振の地場企業や農家等の経営改善に向けて関係機関や他の金融機関等と連携し、積極的に支援しています。

金融円滑化にかかる基本的方針の概要

- ① 当会は、お客さまからの新規融資や貸付条件の変更等のお申込みがあった場合には、お客さまの特性および事業の状況を勘案しつつ、できる限り柔軟に対応するよう努めてまいります。
- ② 当会は、事業を営むお客さまからの経営相談に積極的かつきめ細かく取り組み、お客さまの経営改善に向けた取組みを支援できるよう努めてまいります。
また、役職員に対する研修等により、上記取組みの対応能力の向上に努めてまいります。
- ③ 当会は、お客さまから新規融資や貸付条件の変更等のご相談・お申込みがあった場合には、お客さまの知識等に応じて、説明および情報提供を適切かつ十分に行うように努めてまいります。
また、お断りさせていただく場合には、その理由を可能な限り具体的かつ丁寧に説明するよう努めてまいります。
- ④ 当会は、お客さまからの新規融資や貸付条件の変更等のご相談・お申込みに対するお問い合わせ、ご相談および苦情については、公正・迅速・誠実に対応し、お客さまのご理解と信頼を得られるよう努めてまいります。
- ⑤ 当会は、お客さまからの、新規融資や貸付条件の変更等のお申込み、事業再生ADR手続の実施依頼の確認または地域経済活性化支援機構もしくは東日本大震災事業者再生支援機構からの債権買取申込み等の求めについて、関係する他の金融機関等（政府系金融機関等、信用保証協会等および中小企業再生支援協議会を含む。）と緊密な連携を図るよう努めてまいります。
また、これらの関係機関等から照会を受けた場合は、守秘義務に留意しつつ、お客さまの同意を前提に情報交換しつつ連携に努めます。
- ⑥ 当会は、本方針に基づく金融円滑化管理態勢について、その適切性および有効性を定期的に検証し、必要に応じて見直しを行います。

中小企業者等の経営支援に関する態勢整備



「経営者保証に関するガイドライン」への対応

経営者保証に関するガイドライン研究会（全国銀行協会および日本商工会議所が事務局）が平成25年12月5日に公表した「経営者保証に関するガイドライン」を踏まえ、態勢を整備のうえ、本ガイドラインを遵守しています。

当会は、経営者保証に過度に依存しない融資の一層の促進に努めるとともに、お客さまと保証契約を締結する場合、また、保証人のお客さまが本ガイドラインに則した保証債務の整理を申し立てられた場合は、本ガイドラインに基づき、誠実に対応するよう努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえた対応

当会は、新型コロナウイルス感染症の拡大により経営に影響を受けたお客さまの資金繰りを支援するため、相談窓口を設置のうえ、プロパー資金により対応しているほか、新型コロナウイルス感染症対応資金（新潟県制度融資）をはじめとする各種制度資金も取り扱っています。

また、JAグループ新潟では、新型コロナウイルス感染症緊急対策資金を創設し、影響を受けた農業者の経営安定化を支援しています。

当会の相談窓口

法人融資に関するご相談 融資部（融資統括） 電話番号：025-230-2203
農業融資に関するご相談 農業部（農業融資） 電話番号：025-230-2151

地域農業活性化のための金融支援

JAバンク新潟の農業資金

JAバンク新潟では、農業者向け資金を幅広くご用意し、新潟県農業の発展を多面的に支援しています。また、農業者に対する金融面での支援強化として、農業者向け資金に広く利子補給・保証料助成事業を実施し、実質金利負担の軽減を図っています。

令和元年度は、前年度好評であった「担い手支援資金（愛称：アグリV）」の融資取扱枠を16億円から25億円に増額するとともに、農業資金にかかる保証料助成を継続するなど、農業専門金融機関として農業者に対する円滑・迅速なサービスの提供に努めています。

今後も、新潟県における農業メインバンクとして、農業者の皆さまを幅広く支援してまいります。



農業資金残高(令和2年3月末)

(単位：件、百万円)

主な資金	県下JAおよび当会での取扱い		資金の内容
	件数	残高	
アグリマイティー資金	3,252	15,330	農業分野に関する幅広い資金用途に長期で対応できる資金
農業近代化資金	632	5,635	機械・設備の取得等、農業経営の近代化を図るために必要な長期資金
農機具ローン	5,435	7,791	農機具の購入等に必要な資金
担い手支援資金(愛称：アグリV)	2,143	4,749	担い手の農業経営に必要な設備・運転資金、農地取得資金
各種災害等資金	1,461	2,123	台風・豪雪・地震等による被害に対する復旧や経営の安定化に必要な資金
にいがたアグリビジネスローン	75	616	農業法人、農業関連法人の経営に必要な資金
農業関連系統当座貸越	6	23,955	農産物販売代金の決済に至るまでのつなぎ資金
スーパーL資金	911	5,450	認定農業者の経営改善に必要な長期資金
その他農業資金	1,938	5,042	
合 計	15,853	70,695	

JAグループ新潟利子補給・保証料助成実績(令和元年度) (単位：件、千円)

資金名	利子補給実績		保証料助成実績	
	件数	金額	件数	金額
担い手支援資金(愛称：アグリV)ほか	1,707	16,387	9,221	87,425
各種災害等資金	1,396	17,801	—	—
畜産特別資金	1	8	—	—
合 計	3,104	34,198	9,221	87,425

■ アグリビジネス投資育成株式会社等によるファンドの活用

JAバンク新潟では、お客さまの資金調達手段の一つとして、農業法人育成のための資本供与の仕組みである「アグリシードファンド」や「担い手経営体応援ファンド」、「プロパー投資」による出資を提案しています。

令和元年度には、県内農業法人の資本調達ニーズに対応するため、「アグリシードファンド」で1先、4百万円、「プロパー投資」で1先、10百万円の出資を実施し、出資総額は15先、125百万円となりました。

農業者向けファンド取扱実績(令和2年3月末) (単位: 先、百万円)

ファンド名	取扱実績	
	先数	出資額
アグリシードファンド	12	80
担い手経営体応援ファンド	2	35
プロパー投資	1	10
合 計	15	125

■ 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク新潟では、地域の農業者との関係強化を目的とした体制整備に取り組んでいます。

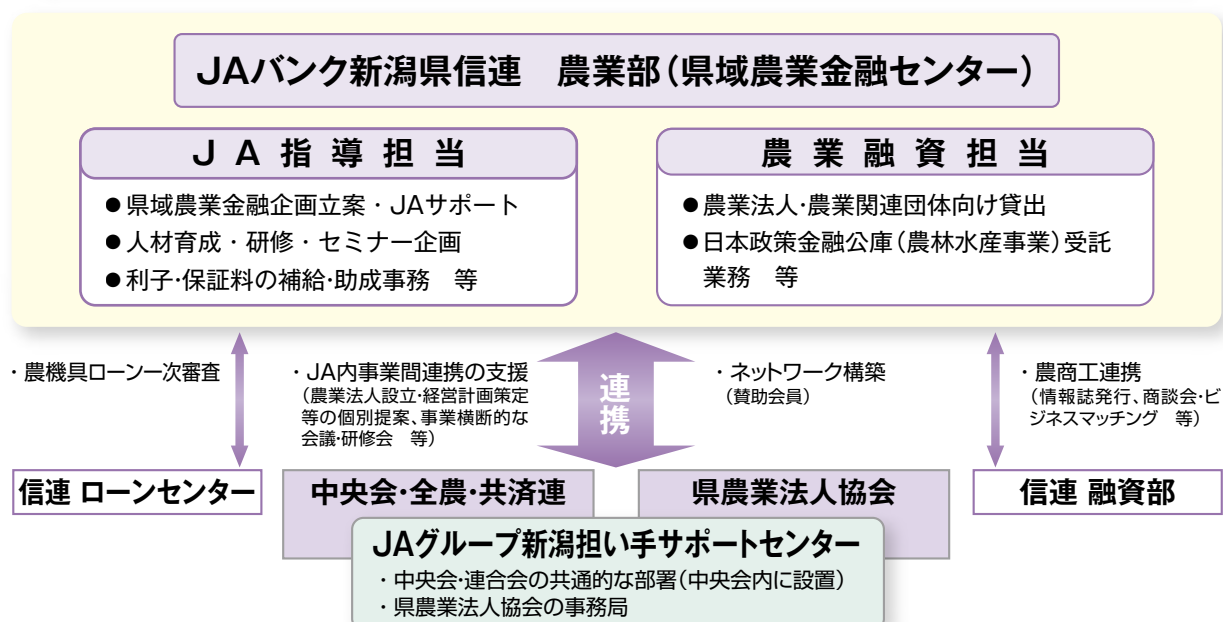
当会では、農業部を「県域農業金融センター」と位置づけ、JAの指導・サポート機能と農業法人等への融資相談機能を併せ持つことで、一元的な取組みを進めています。JAの体制整備や人材育成を支援するとともに、JAと連携した協調融資などにも取り組んでいます。

県下23JAでは、担い手への訪問・資金提案活動を中核的に担う「農業融資相談員」をJA本支店(所)に206名配置し、また、農業融資の実務を統括する「担い手金融リーダー」を35名配置しています。

農業融資相談員等の相談対応力向上を目的に、JAバンク独自の農業融資資格制度である「JAバンク農業金融プランナー」の資格取得を進めており、県下合計で490名(当会40名含む)が資格を有しています。また、日本政策金融公庫が実施主体となる「農業経営アドバイザー研修・試験」にも取り組み、県下合計で106名(当会17名含む)が資格を有しています。

また、JAが総合力を発揮し農業者の多様なニーズに応えていくため、当会を含めた中央会・連合会の共通的な部署である「JAグループ新潟担い手支援室(略称: 担い手サポートセンター)」が中心となり、農業法人設立、経営計画策定および事業承継の個別提案活動や事業横断的な会議・研修会の開催等を通じ、JA内事業間連携の強化を支援しています。

担い手支援にかかる体制図



ライフサイクルに応じた担い手支援

新規就農者の支援

JAバンク新潟では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、「青年等就農資金」および「新潟県新規参入者経営安定資金」を取り扱っているほか、JAバンク新潟独自の「新規・親元就農応援事業」を展開しています。

セミナーの開催

新潟県農業の担い手として活躍している農業法人等、大規模農業者の一層の発展に向けた経営安定化支援策の一環と、参加者同士の情報交換、ネットワークづくりの場を提供することなどを目的として、平成19年度から「農業法人経営者セミナー」を開催しています。

セミナー名	第13回農業法人経営者セミナー
主催	JAバンク新潟県信連
後援	農林水産省北陸農政局、新潟県、新潟県農業法人協会、JA新潟中央会
参加者数	229名
講演内容	【第一部】 「水稲と園芸との経営の複合化およびスマート農業の導入による作業効率化・省力化に向けた取組み」 株式会社ふるさと未来 代表取締役 高橋 賢一 様 【第二部】 「農業法人における労務管理の留意点」 すずき労務経営コンサルタンツ 鈴木 大輔 様

第13回目となる令和元年度は、「水稲と園芸との経営の複合化およびスマート農業導入の取組み」と「農業法人における労務管理」をテーマに、令和2年2月に農業法人経営者セミナーを開催しました。

また、セミナー終了後、労務管理に関心のある3先の農業法人に対して、専門家との個別相談を通じて課題解決に向けた取組みを支援しました。

6次産業化・農商工連携への取組み

●商談会の開催

ビジネスマッチングを通じた農商工連携および6次産業化の推進を目的として、令和元年5月に新潟市で開催された「にいがた 食と総合ビジネス商談会（しょく Biz!）」、令和元年9月に東京都内で開催された「うまさぎっしり新潟・食の大商談会2019」、令和2年1月に石川県金沢市で開催された「JA・JFグループ北信越商談会」に参画しました。

今後も県内農畜産物の販路拡大への支援を通じ、新潟県農業および地域の活性化に貢献していきます。



北信越商談会会場の様子

●情報誌「Sole! にいがた」の発行

農商工連携を促進する一環として、フリーペーパー形式の情報誌「Sole!（そーれ）! にいがた」を平成22年7月に創刊、以来年4回発行しています。

この情報誌では、県内の農業や産業に関する幅広い情報の提供により、「農と食」を基軸としたコミュニケーションを通して、農業生産者・JAグループと地域の企業、さらには広く地域の皆さまとの結び付きを強め、新たなビジネスチャンスを生み出すきっかけづくりを目指しています。
 ※県内のJA窓口や直売所、道の駅、スーパー等で無料配布しています。
 ※バックナンバーは、当会ホームページでご覧いただけます。



2020年夏号

負債整理資金の提供による償還負担の軽減支援

JAバンク新潟では、農業者の経営再建を支援するため、「負債整理資金」をはじめとする負債整理のための資金を取り扱っています。

利用者ネットワーク化の取組み

お取引いただいている利用者の皆さまへの有益な情報の提供や利用者間の相互交流を深める目的で、様々な活動に取り組んでいます。

信連融和会

当会の融資お取引先企業を会員として、会員相互の情報交換や異業種交流を目的に運営しています。
県下一円を対象とした会であり、会員相互のネットワークづくりのお手伝いをしています。
(令和2年6月末現在の会員数：124社)

JA年金友の会

県内JAでは、年金友の会等、組合員および利用者の皆さまの相互交流や健康増進に向けた活動を行っています。

JA年金・ローン相談会

組合員および利用者の皆さまの生活設計のお手伝いをさせていただくために、各種相談会を定期的に開催しています。

文化的・社会的貢献活動

当会は、金融サービスの提供にとどまらず、地域社会の一員として、広く地域社会の発展と地域の皆さまの豊かな暮らしづくりを願い、文化的・社会的貢献活動に積極的に取り組んでいます。

公益信託「JAバンク新潟県信連創立50周年記念・ホームヘルパー支援基金」

高齢化社会の到来を踏まえ、高齢者に対する在宅福祉サービスの主な担い手であるホームヘルパーを支援・育成する活動に対し積極的に助成していくことを目的として、平成10年に「JAバンク新潟県信連創立50周年記念・ホームヘルパー支援基金」(信託財産1億円、平成25年3月に5千万円追加拠出)を設立しました。

この基金は、新潟県内の社会福祉法人やボランティア団体等を助成対象者とし、ホームヘルパーの活動および当該活動を支援する設備等を対象としています。

令和2年4月には第22回目の助成金贈呈を行い、県内の社会福祉法人等9団体に合計591万円を助成いたしました。

※基金設立以来の助成総額：1億2,562万円

「がんの子どもを守る定期貯金」の受入を通じた、がんの子どもを守る会への寄付金の贈呈

JAバンク新潟では、貯金の受入れを通じた小児がん患者への支援を目的として、平成29年度より「がんの子どもを守る定期貯金(ゴールドリボン定期貯金)」を取り扱っています。

多くの皆さまから趣旨にご賛同いただいた結果、令和2年1月31日現在の本定期貯金残高の0.05%に相当する1,600,842円を公益財団法人がんの子どもを守る会に寄付することができました。

寄付金は、同会を通じて小児がん患者の療養費の助成やご家族の支援、調査・研究等に役立てられます。

令和2年度も4月1日より取扱いを開始しました。



寄付金贈呈式

「スポーツ教室・食育教室」への特別協賛

平成25年度より、「スポーツを通じた青少年の健全育成」の趣旨に賛同し、アルビレックス新潟および新潟アルビレックスBBが開催する「スポーツ教室・食育教室」への特別協賛を行っています。

アルビレックス新潟による「キッズサッカーフェスタ」（サッカー交流試合・食育教室）では、園児を対象に、サッカーの楽しさを体感してもらうことに加え、元気な身体を作るために大切な食育教室（親子参加）をデンカビックスワンススタジアムで開催し、30名の園児が参加しました。

また、新潟アルビレックスBBによる「すくすくクリニック」（バスケットボール教室・食育教室）では、小・中学生、高校生を対象に、プロ選手からの技術指導と管理栄養士による食育教室を県内3会場で開催し、88名の児童・生徒が参加しました。



アルビレックス新潟による親子食育教室

「アルビレックス新潟」サッカー観戦チケットの寄贈

県内の障害者スポーツ普及活動を支援するため、新潟県障害者スポーツ協会へ、アルビレックス新潟のホームゲーム招待券を寄贈しています。令和元年度は、リーグ戦全21試合、462名の招待券を寄贈しました。

JAバンク新潟食農教育応援事業

JAバンク新潟では、平成20年度より食農教育を通じて、子どもの農業に対する理解の深耕を図り、地域の発展に貢献することを目的に「新潟県 JAバンク食農教育応援事業」を展開しています。

当事業では、JA等が行う食農教育にかかる活動費用を助成しており、令和元年度には県内の全JAが当事業を利用し食農教育活動を行いました。

また、当事業の一環として、子どもたちが食と環境と農業への理解を深めるきっかけとなることを願い、小学校高学年を主な対象として「農業と私たちの暮らし」と題した食農教育の補助教材本を県下の全小学校に贈呈しています。



JAによる食農教育活動

「松竹大歌舞伎」公演への特別協賛 県内の留学生・高校生・大学生を招待

地域の文化振興を応援するため、公益財団法人新潟市文化振興財団が主催する「松竹大歌舞伎」公演への特別協賛を行っています。

なお、公演には日本の伝統文化に触れる機会を提供することを目的に、新潟県内の留学生ならびに高校生・大学生を招待しており、令和元年度は130名の方からご鑑賞いただきました。

文化情報誌「カルチャーにいがた」への協賛

県内の文化情報の発掘と発信を目的として、公益財団法人新潟県文化振興財団が発行する文化情報誌「カルチャーにいがた」に広告協賛を行っています。「愛する郷土の文化を広く紹介する」という趣旨に賛同しています。



文化情報誌「カルチャーにいがた」

地域行事への参加

「新潟まつり大民謡流し」等の地域行事に地域の一員として積極的に参加し、地域の皆さまとの交流を大切にしています。

役職員のボランティア活動への参加・地域清掃活動

新潟市が主催する地域清掃活動に毎年参加しています。令和元年度は、各地で開催された清掃活動に合わせて113名の職員が参加しました。



新潟まつりの様子

「愛の献血」in JAバンク新潟県信連

新潟県赤十字血液センターのご協力により、平成11年度から継続的に団体献血を実施しています。令和元年度は年2回の献血を実施し、107名の職員が協力しました。



団体献血の様子

協同組合間提携による健康で豊かな地域社会づくり

生協、漁協、森林組合等と提携を結び、協同組合の一員として、生産者と消費者との強い結びつきによる安全・安心・安定的な食料生産と供給、そして調和のとれた美しく住みよい地域社会づくり、さらに環境問題等に取り組んでいます。

環境保全への取り組み

ビル内の節電対応や、「クールビズ」「ノー残業デー」の実施など、環境保全を意識した取り組みを積極的に行っています。

また、JAバンク新潟では、地球温暖化防止や、地域の森林整備等の促進、豊かな自然環境の保全を支援することを目的に、平成28年度からカーボン・オフセットにも取り組んでおり、「にいがた農業応援定期貯金（ほほ笑味）」のクーポン券に、調理時に排出する一食分のCO₂吸収量を付与することで実施しています。オフセットの手段として「トキの森クレジット」を購入し、「トキの森プロジェクト」による新潟県の森林整備を支援するとともに、人とトキが共生する地域づくりを応援しています。

※カーボン・オフセットとは、暮らしの中で出てしまうCO₂を森林整備等CO₂吸収活動の支援により埋め合わせることです。



エコキャップ運動への参加

ペットボトルのキャップを集めて世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に参加しています。